

シグナルペプチダーゼ I

Cat. No. EXWM-4180

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素は細菌膜およびクロプラストのチラコイド膜に存在します。ほとんどのセリンペプチダーゼの阻害剤の影響を受けませんが、部位特異的の異導入により活性におけるSer/Lys触媒二量体が関与していることが示唆されています。M13ファージプロコートタンパク質の単結合 - Ala-Ala- を加水分解し、遊離シグナルペプチドとコートタンパク質を生成します。以前はEC 3.4.99.36に含まれていました。異なる特異性を持つ可能性のある真核生物のシグナルペプチダーゼは、内因性膜およびミトコンドリア内膜から知られています。ペプチダーゼファミリー S26のタイプ例です。

別名 リーダーペプチダーゼ I; シグナルプロテイナーゼ; 大腸菌リーダーペプチダーゼ; 真核生物シグナルペプチダーゼ; 真核生物シグナルプロテイナーゼ; リーダーペプチダーゼ; リーダーペプチドヒドラーゼ; リーダープロテイナーゼ; シグナルペプチダーゼ; ピリンリーダーペプチダーゼ; SPC; 原核生物シグナルペプチダーゼ; 原核生物リーダーペプチダーゼ; HOSP; 原核生物シグナルプロテイナーゼ; プロペプチダーゼ; PulOプレピリンペプチダーゼ; シグナルペプチドヒドラーゼ; シグナルペプチドペプチダーゼ; シグナルエース; パクテリアリーダーペプチダーゼ 1; ピリンリーダーペプチダーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.4.21.89

CAS登録番号 65979-36-4

反応 疎水性のN末端シグナルまたはリーダー配列の切断

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。